

各種新聞圖解の内
教會新聞
 第三號

教法の數種ある中小正眞の道も遵奉
 こと誠實の人のいふべく、双親の訓と
 一條の固守と直ぐ相の樹に因りある歟
 三輪とよぶ女陸前仙臺の士族日下
 某の愛子少く村内は美色の聞へ高祿家
 等が仲人も容て娶んと望むる者も大代村
 栗野某とて人の嫁さんと約定整ひ既
 小婚儀の日及び栗野の異教と信奉する者
 ある事聞知りて俄に破約をせむるも媒酌人
 大に困却し今宵の儀式と濟さんと
 透しつ成しり勸めぬともあみさる志操
 確平とて死を以て辞まふ是非もあく
 断然切く縁の糸赤き心の顯まらば杉の
 下枝は止るる三輪の神代の昔語も常小
 尊と聴たるゆゑあり。

樽々堂鈍々記



樽々堂

鮮吉の屋

